



梅雨の時期、大人は天候に悩まされる事も多いのですが、子どもたちは興味や関心を持って、その時期ならではの遊びを見つけて楽しんでいます。子どもたちの探求心が満たされて、毎日がどきどきわくわく楽しみながら過ごせるよう、関わりや環境作りを工夫していきます。



保育目標

5歳児（道）

- 友だちとのつながりを深めながら、自分の思いを相手に伝え、聞こうとする。

4歳児（和）

- 友だちと思いを伝え合いながら、一緒に遊ぶ事を楽しみ、イメージを共有する。

3歳児（愛）

- 梅雨期の自然を見たり、触れたりして興味・関心を持って楽しむ。

2歳児（心）

- 保育者に見守られながら、好きな遊びをしたり、仲立ちをしてもらいながら、気の合う友だちと遊ぶ。

1歳児（輝）

- 友だちに関心を持ち、一緒に遊びを楽しむ。

0歳児（純）

- 保育者との安定したかかわりの中で、興味のある物に触れたり体を動かして遊ぶ。



学園だより

光の子

第324号

令和5年6月1日
光明第七こども園

<https://www.koumyou7.net>



行事予定

1日（木）	衣替え	15日（木）	リトミック（輝・純）
	こころの日	16日（金）	誕生会
2日（金）	身体測定（幼児）	20日（火）	観劇会
5日（月）	身体測定（乳児）	23日（金）	英会話教室（和）
6日（火）	歯科健診	28日（水）	体操教室（道・和）
7日（水）	親子交流会（道）	30日（金）	プール開き
9日（金）	英会話教室（道）		
14日（水）	0歳児健診 体操教室（幼児） 布団乾燥消毒	※避難訓練・不審者訓練は 予告なしで行います。	

衣替え

1日（木）は、『衣替え』です。衣替えとは、季節の変わり目に、その季節に応じた衣服（衣類）等に替える習慣のことをいいます。

保育園では、子ども達が楽しく知ることができるように、お話やイラストなどで衣替えについて伝えています。

ご家庭でもこの機会に、一緒に衣替えをしたり、その季節に着られなくなった衣服についても、どうしたら良いのか話し合ってお話をする機会を作ったりしてはいかがでしょうか。

時の記念日

日本書紀によると、671年4月25日に天智天皇が「漏刻」と呼ばれる水時計を建造し、鐘鼓によってはじめて人々に時刻を知らせた日に基づいて記念日となりました。（※4月25日は太陽暦で6月10日になります。）

園では、普段の遊びの中で折り紙や廃材などを利用して手作りの時計を作ったり、由来や時間の大切さを子ども達と一緒に考えたりしていきます。

夏至

6月21日（水）は『夏至』です。夏至とは、一年の中で太陽が最も北に来て、昼の時間が長くなる期間のことです。「夏」に「至る」という名前が示すように、夏至を過ぎると「本格的な夏が来る」と考えられています。

地域によっては、夏至の日に「いちじく」や「タコ」を食べる習慣があるそうです。

入梅

入梅とは、その名の通り、梅雨入りの時期を前もって示すために導入された雑節の事を言います。

農家にとって梅雨入りの時期を知ることは、田植えの日取りを決めるのに重要だったそうです。園でも、稲作を子ども達が興味や関心を持って取り組んでおり、今から秋の収穫を楽しみにしています。

ひなたぼっこ

道組の女兒2人が、向かい合わせで絵を描いていました。途中1人が咳をすると、「大丈夫？」「昨日よく寝た？」と心配そうに問いかけていました。「眠れたよ」「でも、最近暑いよね」「そうだよね」と大人顔負けの会話をしていました。その後も会話が弾みとても楽しそうでした。2人の会話が微笑ましく、可愛らしかったです。